

日本語教室の七夕とスピーチ茶話会が開かれました 「一步を踏み出そう！」素晴らしいスピーチの数々

渡部一之（日本語教室部会部会長）

♪♪ささの葉さらさら、のきばにゆれて、
お星さまキラキラ、きんぎん砂子♪♪

「たなばたさま」の歌を参加者全員で歌って、今年も日本語教室恒例の「七夕とスピーチ茶話会」が始まりました。7月1日の月曜教室、3日の水曜教室、4日の木曜教室、6日の土曜教室、全ての教室でそれぞれ催されました。会場はサンロード6階の会議室。会場には、当日の朝、あいにくの雨の中、切り出して来た大きな笹竹と、正面に七夕さまの飾りつけが設えられて、七夕会の雰囲気を作っています。

多くの国出身の日本語学習者によるスピーチがいよいよ始まりました。スピーカーの学習者は自由なテーマでスピーチを行いました。

私が印象に残ったスピーチを紹介しましょう。

「日本語が上手に話せないと心配していませんか？ 恥ずかしくて同じ国の人とばかり話をしていませんか？ 実は前に私がそうでした。でもある時、これでは何時までも日本語を覚えられないと思い、勇気を出して日本人に話し掛けてみました。上手な日本語でなくても、日本人は親切にいろいろなことを教えてくれました。一步踏み出すことがなければ途は拓けません！」

また別の学習者のスピーチです。

「小学生の子供を持つ母親ですが、保護

者として学校の子供会に入ることになりました。外国人なので違和感もあったのですが、思い切って入ってみました。周りの人たちが親切で、いろいろなことをよく教えてくれて、苦労はあるものの、とてもよい刺激と勉強になっています。一步踏み出すことが大切です」

ここに紹介したスピーチ以外にも、本当に感動を覚える素晴らしいスピーチが沢山ありました。スピーチの最後に、それぞれ短冊に書いた七夕さまへの「願い事」を発表しました。

今年の参加者は学習者がお子さんを含め78名、ボランティアが94名、総勢172名でした。各曜日の「七夕とスピーチ茶話会」幹事の皆様、ボランティアの方々の多大なご尽力でこの会が大いに盛り上がりました。参加者全員に「ありがとう」と申し上げます。



大勢を前に日本語で話すのは初めて。水曜教室で。